

# エクストリームチャレンジ in 四国の右下 2015

## オープンクラス(フル) 優勝チームコメント

### 風神雷神 武井 正幸さん

チーム「風神雷神」のたけぷーこと武井です。

「エクストリームチャレンジ in 四国の右下 2015」にエクストリームシリーズ 2015 の年間優勝チームとして、参加しました。

今回のチームは、パワーあふれる剣士さん(小畑剣士さん)、いつも笑顔のかーさん(鈴木真樹子さん)、そして地図読み好きのたけぷーの3人で参加。

事前に今回のレースは種目として MTB が無いと大会要項で分かってはいたのですが、今まで MTB 無しの大会に参加したことがはなかったのでどんな展開になるのかイメージができない状況でのスタートでした。

初日はコースタリング、トレッキング、リバートレッキングの3種目。  
3km くらいのコースタリング後のトレッキングが地図読み難度が高く、参加した全チームが苦戦したようです。我々も苦戦しました。

CP5~7 は直線距離にして 600m 程度なのに間に CP6 が設置されている区間で、地図をもらって眺めたとき、この CP の区間の短さに違和感を感じてました。(他の CP 間は約 2km くらい)  
実際に行ってみると地図にある道は不明瞭もしくは無くなっていて、とても難しい区間でした。

CP5 には3位で到着。  
直前に2位のチームが見え、北西に延びる明瞭な林道を進んでいきました。  
我々も林道を進もうと思いましたが、一瞬立ち止まり地図とコンパスを見ると、林道の向きが進むべき方向と違っていたので、地図を頼りに北の沢に延びる細い道(不明瞭)に入っていました。  
すぐに道は無くなり沢を北に進んで行きましたが、いっこうに CP6 に向かう沢の分岐が見つからないことから、分岐を見過ごしたことがわかり、少し戻って目的の沢に入ることができました。  
CP6 の沢に入ると道が現れ、CP6 は難なく見つかりました。  
しかし CP6 から先も難しく、地図では道があるのですが、見つからず、結局コンパスを頼りに尾根上までまっすぐ登ることにしました。  
CP6 から高さにして 140m ほど登り、尾根に出たところで山道を発見。  
道の向きや高度からその場所が CP7 の直上であることがわかり、そのまま沢を下って CP7 に到着することができました。結果的にはこの区間のタイム差が最後の順位に大きく影響したと思います。  
地図とコンパスを信じ、高度をチーム内で確認しあったことが良い結果に結びついたと思います。

2日目は3km くらいのシーカヤックとトレッキングの2種目。  
シーカヤックではチームメンバーが2人乗りと1人乗りカヤックに別れて乗ります。私は1人乗りカヤックに、かーさんと剣士さんが2人乗りカヤックに乗りましたが、スタートしてすぐに、私の進みが悪く、メンバーとの距離が離れてしまったため、途中の島に上陸し、剣士さんと交代しました。  
トレッキングの山区間は地図ではあまり難しそうに見えなかったのですが、実際に現地に行くと尾根上にシダが一面覆っている場所も多く、予定通りに進むことができなかったため、6km を進むのに2時間40分かかりました。

山を下山してからは残り2ヶ所のポイントを巡りながら、舗装路を約7km 走り、ゴールに向かいました。  
ゴール直前までは走っていてツライと感じているのですが、やはりゴールするとそんなことも忘れてしまい、大きな達成感を感じました。

今回、四国の右下に参加し、海陽町の「キレイな海」や「人里から近いのに侮れない山」などの自然を堪能させていただきました。

スタッフのみなさん、素敵な大会をありがとうございました。

また来年も参加できるよう精進します。

風神雷神 たけぷー